

発行者：食育のふるさとさかだにをよくする会
発行日：令和4年2月1日

さかだに瓦版 (かわらばん)

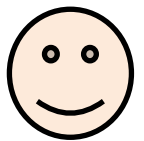
～阪谷地区の今～

第2号【簡易版】



最近、時代の流れにより地域でいろいろな問題が発生してきて、
このままでは住み続けていくことができないと
いう声を耳にするようになっていきます。

第1号では、阪谷地区の少子高齢化の現状とそれに伴って
地域でいろいろな問題が起こっているのがわかったよ。



今回も、みなさんが知っているようで知らない阪谷地区の今
を、いろんなデータをもとにみていきましょう。

【第2号の内容】

第2章 阪谷地区の働く場の実情

- ・ 阪谷地区の働く場の実情
- ・ 阪谷地区の農業の実情
- ・ 阪谷地区の観光業の実情

[次回以降の発行予定]

令和4年4月下旬

第3章 阪谷地区の生活環境

(※現時点での予定です。)

詳細版はもっと詳しくデータ等が記載されています。希望される方は阪谷公民館でお配りします!!

第2章 阪谷地区の働く場の実情

～ 阪谷地区の働く場の実情 ～

産業別就業者の構成（大野市民）

[平成27年 国勢調査より]

分類	就業者数 (単位：人)
第1次産業	1,563
第2次産業	5,560
第3次産業	10,610
合計	17,733

産業別事業所数・従業員数（大野市内）

[平成28年 経済センサス活動調査より]

分類	事業所数 (単位：件)	従業員数 (単位：人)
第1次産業	38	672
第2次産業	490	4,437
第3次産業	1,309	8,887
合計	1,837	13,996

第1次産業

…農業、林業等

第2次産業

…製造業、建設業

第3次産業

…卸売業、小売業、宿泊業、サービス業、医療福祉など

有効求人倍率（奥越地域）※新規学卒者除く

[令和3年10月 ハローワーク大野]

	令和元年度	令和2年度
有効求人数	14,628	11,781
有効求職者数	7,949	8,165
有効求人倍率	1.84	1.44

職種別有効求人倍率・賃金情報（奥越地域）

[令和3年10月 福井労働局職業安定課]

職種	有効求人倍率	求人賃金 (単位：円)		求職賃金 (単位：円)
		上限	下限	希望
専門的・技術的職業	2.13	286,765	202,911	225,833
事務の職業	0.32	208,451	160,570	172,857
販売の職業	5.00	230,143	168,814	180,000
サービスの職業	3.09	234,359	184,562	210,000
保安の職業	3.67	—	—	—
輸送・機械運転の職業	1.74	226,591	203,851	200,000
生産工程・労務の職業	2.59	260,718	179,502	181,905
その他の職業	2.50	—	—	—

◆有効求人倍率とは…

求職者1人に対して、何人分の求人があったかを示すもので、求職者数よりも求人数が多いとき（＝人手が不足しているとき）は、有効求人倍率が1を上回り、逆のとき（＝就職難のとき）は1を下回ります。



有効求人倍率だけを見ていると阪谷に住んでいても十分働く場はあるように見えるけど、実際には職種によって倍率には差があるよ。

仕事は、職を求める人と雇い主（企業）との職種や給料などのいろいろな条件のマッチングの結果だから、いくら求人が多くても、働き手が魅力を感じなければ就職には結びつかないんだよ。

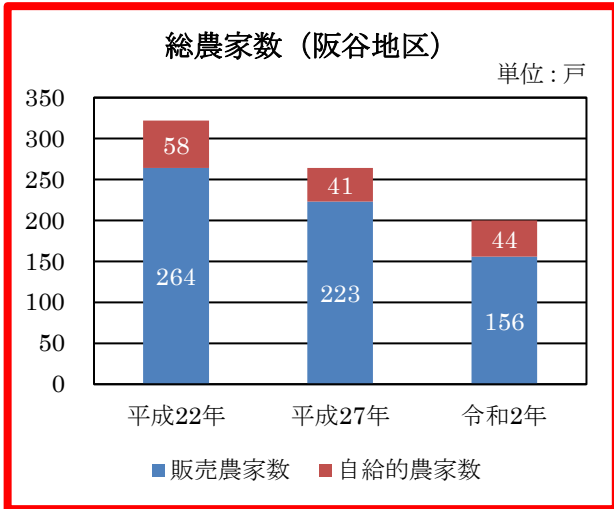
あと、ハローワークの数字には新規学卒者は含まれていないから注意が必要だよ。学校を卒業して初めて就職するといった若者は、これからの将来を考えて、魅力ある職業を探す傾向はもっと強いから、そういった職が地元になれば、職を求めて外に出て行ってしまいうndらうね。

だからこそ、魅力ある働き場を地元につくること、魅力ある

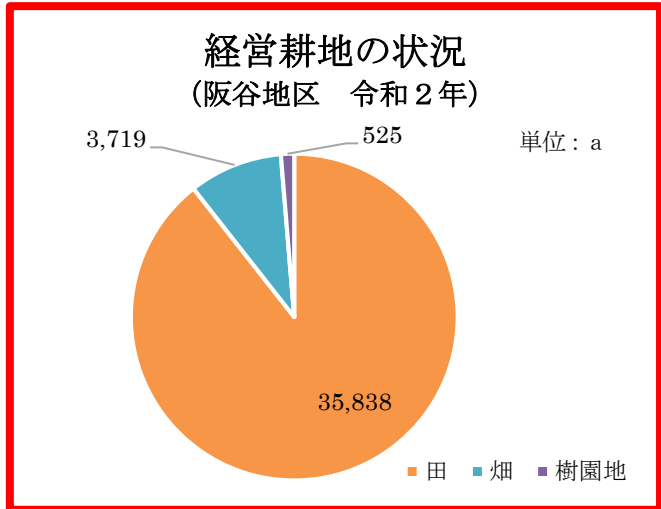
企業の地元への誘致は重要なんだね。

～ 阪谷地区の農業の実情 ～

総農家数



経営耕地の状況



経営耕地面積規模別 経営体数 (令和2年)

単位：戸

	1ha未満	1.0～2.0ha	2.0～3.0ha	3.0ha以上	合計
大野市	365 (39.1%)	332 (35.6%)	112 (12.0%)	124 (13.3%)	933 (100.0%)
阪谷地区	95 (58.6%)	45 (27.8%)	8 (4.9%)	14 (8.6%)	162 (100.0%)

農産物販売金額規模別 経営体数 (令和2年)

単位：戸

	100万円未満	100～300万円	300～500万円	500万円以上	合計
大野市	539 (57.8%)	259 (27.8%)	43 (4.6%)	92 (9.9%)	933 (100.0%)
阪谷地区	127 (78.4%)	21 (13.0%)	3 (1.9%)	11 (6.8%)	162 (100.0%)



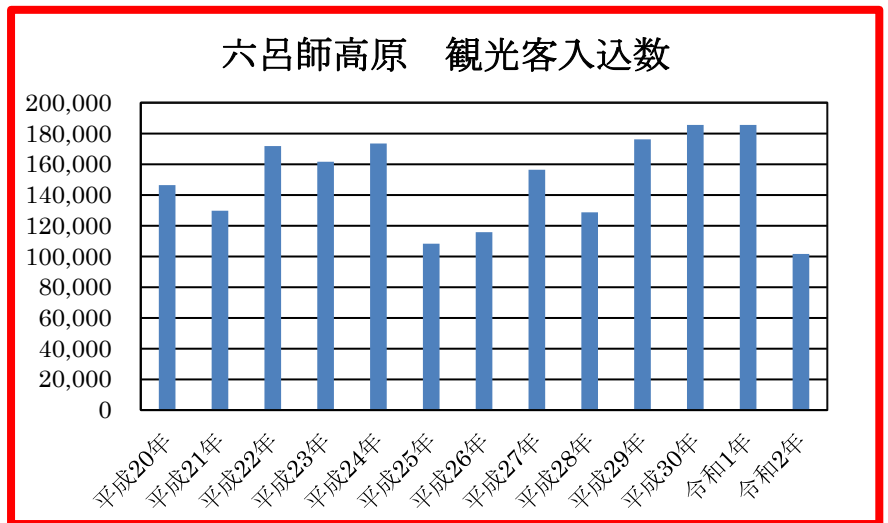
大野市全体でもそうだけど、**農家はかなり減ってきている**ね。
 阪谷地区の特徴で言うと、大野市全体と比べても「**耕地面積の規模が小さい**」「**販売金額の規模も小さい**」ことが挙げられるよ。
 あと、阪谷地区は土地的に棚田が多いし、鳥獣害もあるから農作業も大変だけど、その分、**清らかな水と経ヶ岳から吹き降ろす冷たい強風が美味しいこだわり農作物を生み出している**と言われているよ。それに、阪谷地区では**減農薬、減化学肥料にこだわった栽培方法**を行っていることも特徴だね。
 これからの農業は、そういった他の地域とは違う特徴を持った美味しい農作物を、作るだけではなく、どうやって**ブランド化(差別化)**して、**市場を開拓して高く売る**かといった**経営面を強化した「儲かる」農業**を目指していく必要があると言えるだろうね。

～ 阪谷地区の観光業の実情 ～

観光客入込数

単位：人

	大野市	六呂師高原
平成20年	1,514,800	146,300
平成21年	1,477,400	129,700
平成22年	1,826,500	171,800
平成23年	1,533,400	161,600
平成24年	1,536,500	173,400
平成25年	1,543,200	108,300
平成26年	1,935,500	115,700
平成27年	2,072,000	156,300
平成28年	2,129,800	128,700
平成29年	2,004,500	176,100
平成30年	1,988,600	185,500
令和1年	1,992,900	185,600
令和2年	1,120,400	101,600



【主な出来事】

平成25年…六呂師スキー場廃業

平成29年…うらら館リニューアルオープン、スキーパーク営業開始

平成30年…スキーパーク夏ゲレンデ営業開始

令和2年…新型コロナウイルスの流行

六呂師高原の主な施設及び入込客数

単位：人

施設名	平成30年	令和1年	令和2年
うらら館	31,072	32,349	25,272
ミルク工房奥越前	30,814	33,765	26,020
スキーパーク	3,994	1,973	858
サン・スポーツランド	2,680	3,084	447
福井県立自然保護センター	32,464	30,154	23,407
奥越高原青少年自然の家	29,811	28,821	9,841
奥越高原牧場	25,887	27,019	10,526

六呂師スキー場の最盛期は昭和50年代後半頃で、1シーズンで10万人以上の人の来場があり、その頃には、ホテルをはじめ民宿も10件以上あったそうだよ。
雪不足やスキー人口の減少等からスキー場が廃業してからは、施設は民営ではない市や県の施設がほとんどの状況となり、観光客が来ても地元に着るお金が少なくなっているのが課題の一つだね。

■六呂師高原での宿泊施設（民営）…農家民宿このは、六呂師高原の宿



今、市では六呂師高原のある「南六呂師区」で令和5年度に星空保護区制度の認定を目指して、さまざまな取り組みをしているよ。それに、県では六呂師高原の活性化に向けて、民間企業と連携し「六呂師高原および奥越エリアのアウトドア観光推進構想」の策定に取り組んでいるし、その他にも、阪谷には、スターランドさかだにのひまわり畑や巨大岩塊群、経ヶ岳などの登山、桃木峠の大杉、それに農業の話でも挙げた美味しい食べ物など、阪谷地区のブランドや観光素材として期待されるものは多いよ。

それらを活かしたメニュー作りや情報発信をみんなで取り組んでいくことで、観光は今後に期待を持てる分野と言えるんじゃないかな。